

一般質問



新型コロナウイルス下での 取り組みについて



自民誠心会 ● 小林 義典 議員

問 財政調整基金の取り崩し額について

答 6月議会定例会に提案した補正予算においても、1億6929万1千円の繰入計上し、令和2年度においての取り崩し額は7億3332万5千円で、令和2年度末の残高見込み額は10億2714万3千円となります。

問 今年度予算化している事業の中で実施できない事業と予算額について

答 現時点において、夏祭り、オリンピックの聖火リレーに関する事業、滋賀県人権教育研究大会の経費などで、予算額は、数千万円に上ると見込んでいます。

問 庁舎建設をどう考えていくのか。

答 平成31年度当初予算を認めていただき、本年3月に実施設計業務を完了しました。し

かし新型コロナウイルス感染症に対し、いま取り組みむことは市民の健康、生活、また経済への対策を最優先に考えることであることから、庁舎整備は一旦立ち止まり時期を見定め進めて行きます。

デマンドタクシー導入計画について

答 デマンドタクシー事業に参入していただく事業者は市内に本社または営業所を有している事業者です。コミュニティバス廃止路線は、甲西南線、美松台ルート、妙感寺ルートおよび医療センター線の3路線で削減費用は1400万円を見込んでいます。しかし、デマンドタクシーの導入に新たな経費も掛かるため運航経費が抑制できる運航形態についても検討を進めます。



休校明けの子どもたちの 不安へのケアを



無所属の会 市民の力 ● 植中 みやこ 議員

問 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、政府の要請による突然の休校は、学校現場や保護者には大きな負担でした。ほとんどの子どもは、感染の恐怖や長い休みの環境変化等で、不安やストレスを感じています。学校再開後の進め方は。

答 三密を避けるなど感染防止対策で制限される学校生活を乗り越えるために、三つの『あ』集まらない・焦らない・明るい笑顔、をスローガンに取り組んでいます。まず、子どもたちの不安な気持ちを受け止め、①学校という社会の一員である意識②コロナは感染予防ができる③不安は一人ではないから弱音を言ってもいい、などを伝え「不安に向き合える力」を重視。再開後すぐにスクールカウンセ

セラーやソーシャルワーカーが心のケアにあたっています。熱中症との兼ね合いで、防止対策が子どもにも過度な負担とならないよう注意していきます。

子どもの虐待防止対策

答 令和元年度の被虐待児は465人で、5年前の1.6倍に増えています。3～5月の相談通告件数は昨年より減っており、コロナ自粛に伴い、外部へのSOS発信が少なくなつたと推測されます。休校中の小学生の学校預りは、要支援児童の見守りの場にもなり、虐待リスクのある家庭には担任が訪問し、安否確認を続けました。ことばの教室やふれあい教育相談室では、不安の高い子どもや情緒の安定に支援が必要など、子どもの指導を継続し、保護者の教育相談も実施しました。